

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401010100	事業の種類	5
年度	30	事務事業名	芸術文化振興補助金事業	予算事業名	文化振興補助金事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美 担当者名 末政 友紀
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	文化団体			
	誰(何)を対象として	市内を活動の基盤とする芸術文化団体			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の芸術文化活動を支援し、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図る			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	補助金	円	264000	264000	264000	264000
	芸術文化活動助成金	円	900000	500000	474000	900000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.056	100	0.056	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	770,386	803,320	104	786,044	98	776,164	99	
	事業費	1,164,000	764,000	66	738,000	97	1,264,000	171	
	合計	1,934,386	1,567,320	81	1,524,044	97	2,040,164	134	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,934,386	1,567,320	81	1,524,044	97	2,040,164	134	
合計	1,934,386	1,567,320	81	1,524,044	97	2,040,164	134		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化協会会員数							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1000	1200	120.0	1200	100.0	1200	100.0	
	実績	1134	1162	102.5	1180	101.5			
指標名2		芸術文化活動助成団体							
指標説明(式)		団体数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
数	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	9	5	55.6	5	100.0			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2020	1900	94.1	1700	89.5	1700	100.0	
	実績	1705	1325	77.7	1291	97.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	より一層の成果を求める	4
	期待する目標	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる	
効率性	コストの節減	補助金の適正化を検討していく	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	4

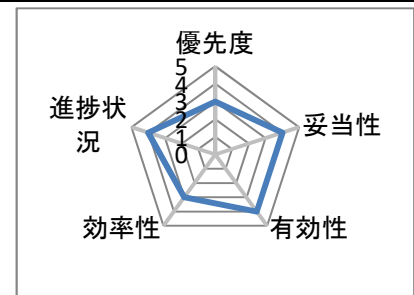
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	各団体の活動に対して、検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。



配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401010200		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	芸術文化活動振興事業		予算事業名	芸術文化活動振興事業   優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の文化活動の振興と向上を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		書道・音楽活動等文化活動による近畿大会以上に出場した児童・生徒及び団体に対し、補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	補助金	円	0	0	0	60,000	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.018	0.016	89		0	0.020	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	484,056	494,600	102	369,740	75	493,384	133	
	事業費	0	0	-	0	-	60,000	-	
	合計	484,056	494,600	102	369,740	75	553,384	150	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	484,056	494,600	102	369,740	75	553,384	150	
合計	484,056	494,600	102	369,740	75	553,384	150		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

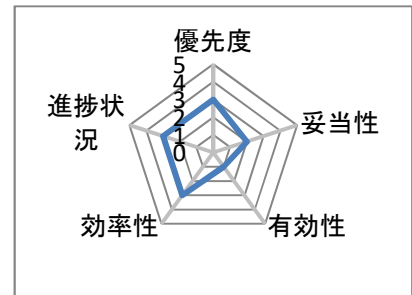
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の近畿大会以上の出場実績は無い。	1
効率性	執行体制の効率性	適切な体制を整えているが、対象者は無し。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者の近畿大会以上の出場実績無し。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	16

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401010300	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業	予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業   優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美   担当者名
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無   主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(の文化芸術振興)			
	誰(何)を対象として	権威ある大会等において成績が顕著な者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	顕彰を贈呈する			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	文化芸術顕彰授与	件	0	0	2	2

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.004	100	0.004	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	378,566	401,984	106	399,476	99	367,704	92	
	事業費		149,800	-	79,600	53	223,000	280	
	合計	378,566	551,784	146	479,076	87	590,704	123	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	378,566	551,784	146	479,076	87	590,704	123	
合計	378,566	551,784	146	479,076	87	590,704	123		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		受賞者数							
指標説明(式)		人数(団体数)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	6	4	66.7	4	100.0	2	50.0	
	実績	0	0	-	2	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

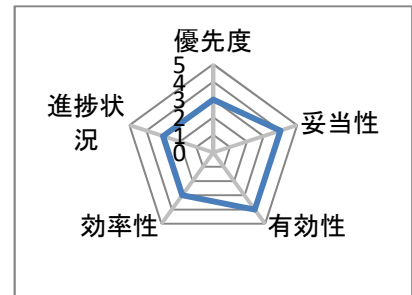
指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	62979	98548	156.5	157140	159.5	295352	188.0	
	実績	0	0	-	239538	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	文化活動レベルの向上が期待される	4
	期待する目標	顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる	
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各文化団体などとの情報共有に努める。

配点	32.5
総合評価	22

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401020100		事業の種類	5		
年度	30	事務事業名	中学生ペーロン推進事業		予算事業名	中学生ペーロン推進事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	松本秀文	担当者名	岡部一成
取組み事項		文化事業を実施する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学生						
	誰(何)を対象として	中学生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生の伝統文化である「ペーロン」を体験し、ふるさとを愛する心をはぐくむとともに、ペーロン船をクラス全員が協力して漕ぐことにより、学級の団結力を高める。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市内3中学校1年生によるペーロン体験乗船及びペーロン競漕				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	中学生参加者数	人	200	180	231	207

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.068	850	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	408,706	432,856	106	429,212	99	870,424	203	
	事業費	550,000	550,000	100	550,000	100	600,000	109	
	合計	958,706	982,856	103	979,212	100	1,470,424	150	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	958,706	982,856	103	979,212	100	1,470,424	150	
合計	958,706	982,856	103	979,212	100	1,470,424	150		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学生参加者数							
指標説明(式)		中学生参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	200	200	100.0	200	100.0	207	103.5	
	実績	200	180	90.0	231	128.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

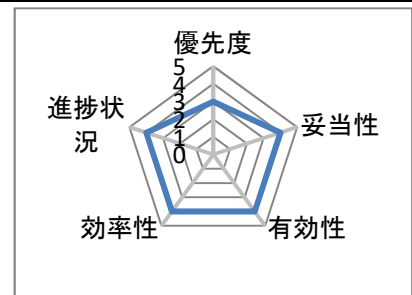
指標名1		参加者(中学生)ひとり当りに係る費用							
指標説明(式)		支出合計(人件費含む)÷参加中学生							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2750	2750	100.0	2750	100.0	2898	105.4	
	実績	2750	3055	111.1	2380	77.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ペーロンの後継者を作るという点で大変意義がある。	4
効率性	手段の最適性	平日開催であるため、指導員を集めるのに苦勞を要する。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定通り達成できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	小学校の体験乗船でも往復600mで競漕をおこなっているが、中学生ペーロンは直線300mの競漕しかおこなえていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	往復600mの競漕を実施するよう教育委員会に要望していく。

配点	32.5
総合評価	24



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401020200		事業の種類	4			
年度	30	事務事業名	芸術文化振興事業		予算事業名	文化振興事業		優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名	末政 友紀	
取組み事項		文化事業を実施する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	芸術文化活動							
	意図(どのような状態にしたいのか)	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われることにより、こころ豊かな生活が送れる							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		文化祭・美術展を実施する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	文化祭	事業	15	17	15	15	
	美術展	回数	1	1	1	1	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.620	0.620	100	0.620	100	0.620	100	
	臨時職員	0.016	0.016	100	0.021	131	0.016	76	
支出内訳	人件費	5,061,838	5,198,416	103	5,036,969	97	5,252,304	104	
	事業費	2,622,640	2,606,220	99	2,629,260	101	2,536,000	96	
	合計	7,684,478	7,804,636	102	7,666,229	98	7,788,304	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,684,478	7,804,636	102	7,666,229	98	7,788,304	102	
合計	7,684,478	7,804,636	102	7,666,229	98	7,788,304	102		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化祭参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
実績	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	4134	3820	92.4	3677	96.3			
指標名2		美術展出品数							
指標説明(式)		出品点数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
点数	目標	250	250	100.0	250	100.0	300	120.0	
	実績	288	250	86.8	275	110.0			

【効率性】

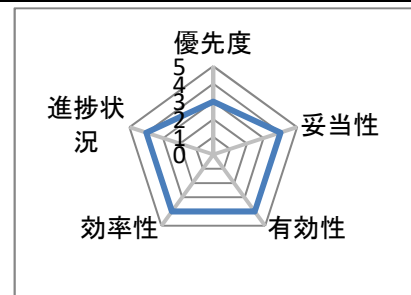
指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	660	660	100.0	660	100.0	634	96.1	
	実績	634	682	107.6	715	104.8			
指標名2		出品一点あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷出品数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10560	10560	100.0	10560	100.0	8453	80.0	
	実績	9106	10424	114.5	9560	91.7			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。	4
効率性	手段の最適性	委託事業という効率的な手法	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおりに進んでいる	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館係とも協力していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるように見直しを行う。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401030300	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業	予算事業名	相生市文化会館管理運営事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美
取組み事項		文化施設の充実を図る		担当者名	桑名 雅彦
実施計画事業名		文化施設への記載		無	主要事業の指定
		文化会館維持管理事業		無	
		文化会館更新事業			
根拠法規及び関連法規		相生市文化会館の設置及び管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民			
	誰(何)を対象として	全市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	利用件数	件	2667	2745	2,823	2800
	利用者数	人	179042	163745	164270	180000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	2.324	2.371	102	2.266	96	2.174	96	
	臨時職員	2.033	2.018	99	1.977	98	2.020	102	
支出内訳	人件費	23,159,797	23,985,902	104	22,689,497	95	23,210,454	102	
	事業費	71,529,948	65,677,452	92	59,639,668	91	62,467,000	105	
	合計	94,689,745	89,663,354	95	82,329,165	92	85,677,454	104	
財源内訳	国庫支出金			-	0	-	0	-	
	県支出金			-	0	-	0	-	
	市債			-	0	-	0	-	
	その他			-	0	-	0	-	
	一般財源	94,689,745	89,663,354	95	82,329,165	92	85,677,454	104	
合計	94,689,745	89,663,354	95	82,329,165	92	85,677,454	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化会館利用状況							
指標説明(式)		文化会館利用人員							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	180000	180.0	180000	100.0	180000	100.0	
	実績	179042	163745	91.5	164270	100.3			
指標名2		利用者1人あたりのコスト							
指標説明(式)		支出合計/利用者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1048	511	48.8	508	99.4	475	93.5	
	実績	529	548	103.6	501	91.4			

【効率性】

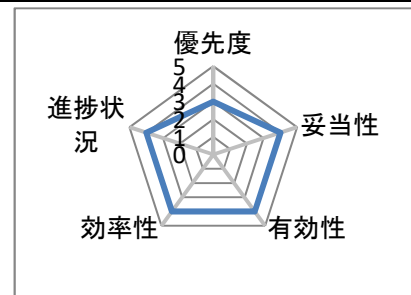
指標名1		文化会館管理事業費							
指標説明(式)		文化会館管理事業費総額							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	80087000	66834000	83.5	66520000	99.5	62467000	93.9	
	実績	71529948	65677452	91.8	59639668	90.8			
指標名2		会議開催数							
指標説明(式)		運営審議会の開催件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1	1	100.0	2	200.0	2	100.0	
	実績	1	2	200.0	2	100.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	昨年度に比べ来館者が増えた。	4
	市民サービス	事業への参加や鑑賞する機会を提供することができた。	
効率性	コストの節減	市民に快適な環境を提供するとともに、経費の節減に努める。	4
	手段の最適性	費用対効果を念頭に置きながらも、使用者、来館者にとって最善の管理運営方法を選択した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	企画委員会をはじめとする市民の意見を尊重しながら、館の運営全般について方向を決めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	様々な年齢層、ニーズに対応した自主事業を実施する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	限られた予算の中で世の中の動向に注視しながら、市民ニーズにマッチした公演を選択する。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401040100		事業の種類	4			
年度	30	事務事業名	文化財運営事業		予算事業名	文化財事業		優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名	森田 敏雄	
取組み事項		文化財の保存と活用を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		文化財保護法、相生市文化財保護条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	文化財							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内文化財の保護と活用を図ることが郷土愛につながる。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		文化財を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	文化財保護事業(清掃作業等)	件	9	9	9	9	
	歴史講座の実施		24	24	23	23	
	史跡めぐりの実施		9	11	10	11	
	古文書講座		11	12	12	10	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.240	0.240	100	0.120	50	0.240	200	
	臨時職員	0.135	0.213	158	0.211	99	0.207	98	
支出内訳	人件費	2,508,771	2,784,474	111	1,846,079	66	2,815,574	153	
	事業費	1,389,972	1,678,561	121	1,920,696	114	1,995,000	104	
	合計	3,898,743	4,463,035	114	3,766,775	84	4,810,574	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,898,743	4,463,035	114	3,766,775	84	4,810,574	128	
合計	3,898,743	4,463,035	114	3,766,775	84	4,810,574	128		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		志保町史跡めぐり回数(個人情報のほかにより、登山石巻に記載しない旨の増加が望まれる)							
指標説明(式)		35人(1ヶ月平均)×12ヶ月=420名							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人数	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		歴史講座及び史跡めぐりの開催回数							
指標説明(式)		年間開催回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	44	47	106.8	44	93.6	44	100.0	
	実績	44	47	106.8	45	95.7			

【効率性】

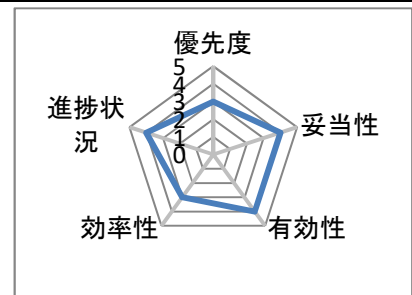
指標名1		人口1人当たりの文化財関連経費							
指標説明(式)		文化財関連事業費(人件費を除く)÷相生市の人口							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	45	45	100.0	66	146.7	68	103.0	
	実績	46	56	121.7	65	116.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コスト面からみて、これ以上の減額は難しく、成果の維持を保っている	4
	市民サービス	文化財を市民共通の財産として後世へ引継ぐことは市民サービスに不可欠である。	
効率性	コストの節減	事業費削減の中、文化財の維持管理上、必要最低限のところまで切り詰めていることから、これ以上のコスト削減の余地はないと思われる。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	市内に残る文化財の維持管理をどのように行っていくか。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	史跡パンフレットや歴史講座、史跡めぐりなどの資料館事業をとおして、市民に市内に残る文化財のPRを行っていききたい。

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401040300		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	資料館管理事業	予算事業名	資料館管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	森田 敏雄
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		資料館維持管理事業					
根拠法規及び関連法規		相生市立歴史民俗資料館条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	歴史民俗資料館					
	意図(どのような状態にしたいのか)	郷土資料の収集、保存、活用を図ることが郷土愛につながる。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		郷土資料を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	資料館管理事業(特別展の開催)	回	2	2	2	2	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.326	0.346	106	0.208	60	0.346	166	
	臨時職員	0.284	0.520	183	0.556	107	0.560	101	
支出内訳	人件費	3,545,224	4,411,220	124	3,455,576	78	4,661,314	135	
	事業費	3,670,832	2,064,357	56	2,710,960	131	2,958,000	109	
	合計	7,216,056	6,475,577	90	6,166,536	95	7,619,314	124	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,216,056	6,475,577	90	6,166,536	95	7,619,314	124	
合計	7,216,056	6,475,577	90	6,166,536	95	7,619,314	124		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		資料収集状況							
指標説明(式)		年度内に受け入れた資料数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
点	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0	
	実績	113	103	91.2	152	147.6			
指標名2		1ヶ月当たりの入館者数							
指標説明(式)		入館者数÷12ヶ月							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100	100	100.0	100	100.0	150	150.0	
	実績	107	99	92.5	148	149.5			



【効率性】

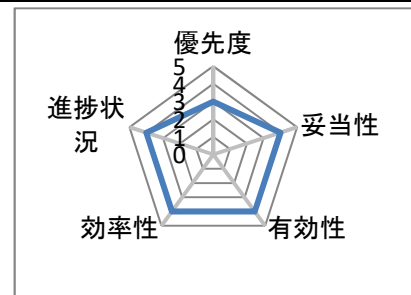
指標名1		資料館入館者1人当たりにかかった経費							
指標説明(式)		資料館事業費(人件費を除く)÷入館者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4900	3000	61.2	2480	82.7	1643	66.3	
	実績	2868	1741	60.7	1522	87.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	郷土資料を市民共通の財産として、後世に引き継ぐことは不可欠である。	4
効率性	手段の最適性	資料館活性化サポート事業により特別展、資料館資料の収集・公開を行い、資料館事業の充実に努めた。また、文化会館の展示スペースを使って、資料館資料の公開を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	寄贈を受けた貴重な資料や資料館活性化サポート事業で収集を行った資料を展示することで、資料の有効活用を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	引き続き資料館の展示物の入替や特別展を実施するとともに、歴史講座等の市民参加型の事業を実施する。

配点	32.5
総合評価	24



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401050100		事業の種類	4			
年度	30	事務事業名	国際交流事業		予算事業名	国際交流事業		優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	松尾 次郎	担当者名	岩田 智美	
取組み事項		多文化共生を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	外国籍市民を含めたすべての市民							
	誰(何)を対象として	外国籍市民を含めたすべての市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が国際化の意識を高めるとともに、外国人が安心して暮らせるようにする。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市国際交流協会による委託事業 (食を通じた国際交流事業、市内在住外国人との交流・支援事業)					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	スピーチ大会	人	-	-	-	-	
	食文化交流会	人	23	21	21	25	
	市民交流会	人	53	37	50	50	
	日本語教室(延べ人数)	人	865	507	1,168	1,000	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.176	0.176	100	0.188	107	0.172	91	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,674,586	1,729,480	103	1,767,332	102	1,687,344	95	
	事業費	250,000	250,000	100	250,000	100	250,000	100	
	合計	1,924,586	1,979,480	103	2,017,332	102	1,937,344	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,924,586	1,979,480	103	2,017,332	102	1,937,344	96	
合計	1,924,586	1,979,480	103	2,017,332	102	1,937,344	96		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		国際交流協会事業							
指標説明(式)		事業数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0			
指標名2		国際交流事業参加者数							
指標説明(式)		国際交流協会主催による事業への参加者数(延べ人数)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	550	555	100.9	555	100.0	1,075	193.7	
	実績	941	565	60.0	1,239	219.3			

【効率性】

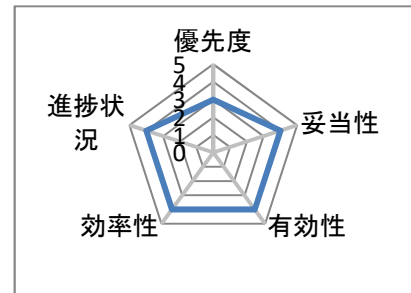
指標名1		事業参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		総事業費÷事業参加者							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,898	3,286	113.4	3,644	110.9	1,802	49.5	
	実績	2,045	3,503	171.3	1,628	46.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	イベントを通じて市民と市内在住の外国人との交流を促進することができた。また、日本語教室を継続して行うことで、生活環境の向上が図れた。	4
	市民サービス	交流事業を行うことで異国の文化に触れ、市民にとって国際理解を深める機会となっている。また市内在住の外国人に対して日本語学習の場を提供することで、サービスの向上につながっている。	
効率性	コストの節減	日本語教室参加者の大きな増加があったが事業費は維持されており、一人当たりのコストは例年よりも減っている。	4
	手段の最適性	国際交流協会及びボランティアスタッフと協力し、事業を進めることが現状では最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	多文化共生に向けて概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	年々、市内企業の技能研修生が増加しているため、企業との連携の必要性が高くなっている。また、市とボランティアの密な連携も必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	市(事務局)、ボランティア、企業との連携及び調整がスムーズにできるような体制を確立する。

配点	32.5
総合評価	24